

保育園のご案内

子どもが生まれても働きたい

子どもの育ちと一緒に見守って欲しい

私たちは子どもたちと保護者の皆様を多様なニーズでサポートします

認可定員(上段)・利用定員(下段)

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	計
望之門保育園	10 3	11 5	20 11	32 23	33 25	34 23	140 90
マナ乳児保育園	12 6	13 6	13 8				38 20
ナルド夜間保育園	8 3	9 5	9 5	11 5	11 6	11 6	59 30

保育時間

	開所時間	標準時間	延長保育	短時間
望之門保育園	7:00~20:00	7:00~18:00	18:00~20:00	9:00~17:00
マナ乳児保育園	7:00~20:00	7:00~18:00	18:00~20:00	9:00~17:00
ナルド夜間保育園	7:00~22:00	11:00~22:00	7:00~11:00	14:00~22:00

設置主体：社会福祉法人 阿望仔

望之門保育園・ナルド夜間保育園

住所： 545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋 5丁目 13-17

TEL： 06-6651-7741(望之門) 06-6651-0802(ナルド夜間)

マナ乳児保育園

住所： 545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋 5丁目 12-10

TEL： 06-6653-6500

3園共通

FAX： 06-6652-8841

H.P： <http://www.aboshi.or.jp>

メールアドレス： nozominomon@aboshi.or.jp



法人の基本理念

- ・キリスト精神にあって、多様な福祉サービスが、その利用者の意向を尊重して、総合的に提供されるように創意工夫します。
- ・利用者の個人の尊厳を保持し、心身ともに健やかに育成されるよう支援します。

保育理念

- 児童福祉法に基づき、子どもの最善の利益を得られるように保育を行います。
- 一人ひとりの子どもの心と体の育ちを見守ります。
- 子育て・子育てを保護者と共に喜びあえる保育を行います。
- 地域と共に、子育て・子育てを温かく見守ります。



保育方針

- ひとりひとりの子どもを大切にします。
- 違いのある子どもたちが、共に生き・共に育つことを大切にします。
- 遊びを大切にします。
- 環境を整えることを大切にします。



具体的な取り組み

○障がい児共生保育

障がいのある子どもたちが、地域や保育園であたりまえに生活し、障がいの有無に関わらず共に育ちあう保育です。

○延長保育・夜間保育

多様化する就労や家庭を支援します。望之門保育園・マナ乳児保育園は18時から20時まで、ナルド夜間保育園は7時から11時までの延長保育を行います。

○子育て支援事業

園開放…地域の親子が安心してゆっくりと遊べる場所を提供します。お母さん・お父さんの交流の場にもなっていて、子育て相談も受けています。

サロン…地域の高齢者や子育て世代が集う、地域の居場所を提供します。

一時保育事業…緊急に保育が必要になった時、あるいは週3日以内の就労などに利用できます。
(休止中)

○病後児保育【のんたんルーム】 ～大阪市委託事業～

病気回復期の子どもを保護者に代わって、看護師と保育士が体調に合わせて、ゆっくりと過ごせるように保育看護します。6か月から小学6年生が対象です。

○放課後学童クラブ

望之門学童クラブ ～大阪市の留守家庭事業～ 週4日以上利用する児童対象

望クラブ ～法人独自の事業～ 週3日以内利用する児童対象

小学生が放課後(長期休校日・土曜日は朝より)に生活する場です。遊びや物作り等の活動を通して、自主性を育み、仲間作りを大切にします。



保育の目標(育ってほしい子どもの姿)

- 自分を大切にできる子
- 人との関りを大切に、違いを認め合える子
- 自然・環境に興味を持ち、大切にできる子
- 自分の持っている力を発揮できる子
- 食べることが大好きな子

保育の方法

○たてわり保育(異年齢保育)

3, 4, 5才児は異年齢でクラスを編成しています。異年齢の子どもたちが、共に生活をする中で、年下の子は年上の子の姿を見て、あこがれの気持ちを持ち、真似をしながら遊びを広げていきます。そして、年上の子から年下の子に遊びや生活習慣が伝承され、その中で互いを思いやる心が育ちます。

○ゆるやかな育児担当保育

0, 1, 2才児クラスでは、食事・排泄・身辺を清潔に保つなどの育児行為を主に決まった保育者が、愛情深く関わりながら行います。

○遊びを通して育つ保育

身体・自立性・社会性が育つよう、育ちに合った遊びの計画を立てつつ、遊びへの意欲が自然と生まれ、主体的に遊ぶことができるよう環境を整え、ひとりひとりの育ちを援助します。

室内では子ども自ら、遊びを選ぶことのできるコーナーや、おもちゃの設置をしています。また、園庭では、土・水・木などの自然に触れて遊ぶことや、ダイナミックに身体を動かして遊ぶことを大切にします。



保育園の歴史

- 1923 年(大正 13 年) 「阿倍野教会」が創立される
- 1949 年(昭和 24 年) 望之門保育園が創立される
- 1971 年(昭和 46 年) 阿倍野教会学童保育所が始まる
- 1973 年(昭和 48 年) 障がい児共同保育が始まる
- 1981 年(昭和 56 年) 「社会福祉法人阿望仔」が設立され、保育事業を継承する
- 1983 年(昭和 58 年) マナ乳児保育園が設立される
- 1985 年(昭和 60 年) 教会より学童事業を継承し「望之門学童保育所」と改名する
- 1986 年(昭和 61 年) 新園舎の完成と共にナルド夜間保育園が新設される
- 1992 年(平成 4 年) 一時保育事業・病気明け保育事業(のんたんルーム)を開始する
- 1995 年(平成 7 年) 在宅高齢者支援事業(ライフパートナーのぞみ)を開始する
- 2002 年(平成 14 年) 社会福祉法人阿望仔後援会が発足される
- 2005 年(平成 17 年) のんたんルームが「大阪市乳幼児健康支援サービス事業」として認可される
- 2008 年(平成 20 年) 「福祉サービス第三者評価」を受審する
- 2009 年(平成 21 年) 「大阪市保育ママ事業」を受託
- 2014 年(平成 26 年) ライフパートナーのぞみが一定の役割を終え、事業廃止となる
- 2015 年(平成 27 年) 「大阪市保育ママ事業」から小規模保育 C 型「はばたけ保育園」に移行
- 2017 年(平成 29 年) 小規模保育 C 型「はばたけ保育園」が 3 月で閉園となる
- 2020 年(令和 2 年) 一時保育事業が 3 月で休止となる
- 2025 年(令和 7 年) 「ペイトのぞみⅢ」開設